

製品名: Bag-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07442**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	BAG4
別名	BAG4; SODD; BAG family molecular chaperone regulator 4; BAG-4; Bcl-2-associated athanogene 4; Silencer of death domains
遺伝子 ID	9530.0
SwissProt ID	O95429
免疫原	ヒト Bag-4 の C 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

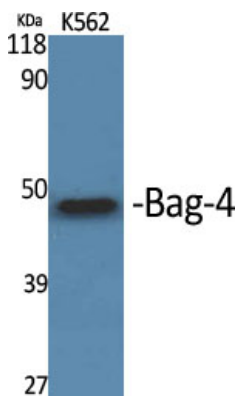
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、BAG1 関連タンパク質ファミリーのメンバーです。BAG1 は、BCL-2、Raf タンパク

質キナーゼ、ステロイドホルモン受容体、成長因子受容体、熱ショックタンパク質 70 kDa ファミリーのメンバーなど、さまざまな細胞アポトーシスおよび成長関連タンパク質との相互作用を介して機能する抗アポトーシスタンパク質です。このタンパク質は C 末端近くに BAG ドメインを含み、これが Hsc70/Hsp70 に結合してシャペロン活性を阻害する可能性があります。このタンパク質は、腫瘍壊死因子受容体 1 型 (TNF-R1) およびデスレセプター 3 (DR3) のデスドメインと関連していることが判明しており、それによって下流の細胞死シグナル伝達を負に制御します。このタンパク質の細胞死の制御役割は、インテグリンを介したマトリックス接触が失われている間にアポトーシスを起こす上皮細胞で実証されました。異なる機能をコードする選択的スプライシング転写バリエーション: 基質放出を促進することで HSP70/HSC70 のシャペロン活性を阻害する (類似性による)。恒常的な TNFRSF1A シグナル伝達を阻害する。類似性: 1 つの BAG ドメインを含む。サブユニット: HSP70/HSC シャペロンの ATPase ドメインに結合。TNF 非存在下で TNFRSF1A のデスドメインに結合し、TRADD や TRAF2 などのアダプター分子の結合を阻害する。TNFRSF12 のデスドメインに結合する。組織特異性: 普遍的。

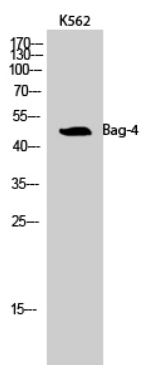
研究分野

細胞生物学

画像データ



Bag-4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



Bag-4 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析